

パブリック・サービス研究分科会 6月 「業務委託と専門職」研究グループ報告書	
日時	2011年6月23日(木)
場所	昭和女子大学
記録	塩瀬(女子栄養大学)
参加者	生澤(獨協大学)、撰(国立音楽大学)、加藤(文化女子大学)、塩瀬(女子栄養大学)、 嶋崎(昭和女子大学)、杉本(成城大学) 山田(武蔵大学)(氏名五十音順)

前回までの進捗状況

- ①受託企業による講義の開催日程と講義を依頼する企業の選定・打診を行った
- ②受託企業3社による講演会開催に向けて必要な事項な準備作業項目の検討

作業内容

嶋崎が作成し、塩瀬が追記した月例会での検討事項資料に基づき検討を行った。

- ①テーマ：有隣堂から提案のあった「受託企業の委託業務への取組み」に決定した。
尚、「～○○～」という形式で企業ごとにサブテーマを掲げることも可とした。
- ②他分科会会員からの申込に対する返信メール文面を決定した。尚、申込締切日を7/14へ延期。
- ③名刺交換会での茶菓は、参加状況を見て当日用意する。(予算は概ね3,000円程度)
- ④講演の議事録の正確性を期す上では、録音することが望ましいが、実際に聞き返して確認している時間が取れないことが予測されるので録音はしないこととした。代わりに加藤と山田(有隣堂のみ)が議事録チェックに加わり、チェック係りの嶋崎とともに内容を確認することとした。
- ⑤会場の下見と当日の掲示物などを確認。(詳細は補足参照)
- ⑥「質問担当」はやめ、質問を提起した人が聞く。また、時間内で答え切れなかった質問は、質問票を用意(担当：山田)し、それに記入して提出を受け、後日分科会のホームページへ掲示する旨を配付資料の末尾に追記しておく。
- ⑦受付けた質問は7/29までに加藤が整理し、嶋崎から企業へ送る。(希望回答期限8/22)
- ⑧合宿での作業項目の確認。
講演内容の整理：単なる議事録の確認ではなく、3社の講演内容の共通性や相違点などを整理し、講演内容を解析のうえグループとしての所見を作成する
12月の発表会に向け、スライドの骨子をなるべく固められるよう検討を進める
研究成果物として1)活動報告を中核とした資料(講演会の解析結果を含む)、2)1)の成果を反映させた研究報告資料(論文)、3)総括的なグループとしての結論資料を用意する方向で合宿中に再度、詳細を検討する

次回までの課題

- ・特になし

<補足>

- ・参加人数を考慮し、席の配置等は当日決める。演壇の横に企業様用に椅子を2脚用意する。
- ・講演会配布資料は3社分を1セットとし、受付時に手渡す。謝礼は講演終了後に接待係が手渡す。
- ・有隣堂のご担当者様とは面識がないので、会場入口に隣接するロビーのソファに企業名を明記した掲示物を貼り、そこでお待ちいただけるようメールでご案内する。
- ・遅刻者用に受付テーブルに「静かに入室して下さい」と案内を置く。
遅刻者が入出したら、気がついたメンバーが資料を渡す。講演終了時に遅れてきた方は受付を済ませようアナウンスする。
- ・建物入口とロビーに会場案内を出す。当日雨の場合は、「傘は傘たてへ」の案内も出す。
- ・受付テーブルには、参加者名簿と配布資料を置く。講演開始時、受付係が両資料は持って入室する。資料は参加者1名につき1部とする。(資料のみは不可)
- ・接待係の役割は当日、あらためて確認する。

(以上)